

教育に生かそう

新聞学習 カリキュラム

中学校編

月
日
()
日直



はじめに

新聞学習で実践の進化を

中日新聞社は、次世代を担う児童・生徒の健全な成長や学力育成を願って、N I E (Newspaper in Education) 活動を行っています。学校で、さまざまなニュースが紹介されている新聞を活用していただき、授業を、最新の情報で、より現実に即した深い内容にしてもらおうという取り組みです。世相を映す事件や事故、暮らしに直結する政治や経済、各地で起きる紛争、世界規模で問題となっている地球温暖化などの環境問題…。記者が取材をし、何人もの目を経て製作される新聞は確かな情報の宝庫で、国語、社会を中心に多くの学習の場で役立ちます。

最近、中学の教科書にも、メディアと表現、読み解きなど「メディアリテラシー」が登場していますが、実は、新聞やニュースをどう活用したらよいのか悩んでおられる先生も少なくないことがうかがえます。中日新聞社は、2006年、N I E事務局内にカリキュラム作成委員会を立ち上げ、まず1年がかりで「新聞学習カリキュラム・小学校編」を製作しました。これが先生方に好評で、翌年度に「中学校編」を誕生させることになったのです。作成には、当時、中学校教師としてN I Eの授業に取り組んでおられた8人に参加を願い、事務局のコーディネーターや委員なども含め12人でスタート。討議を重ね、案を検討し、国語、社会などの教科の枠を超えた新しい「単元・新聞」をイメージしてカリキュラムを完成させました。

8人の先生が分担して原稿を執筆されましたが、内容は工夫を凝らしてあり、あらゆる教科の先生に参考になるような形になっています。新聞活用に関心を寄せられたり、メディアリテラシーの授業に取り組まれたり、また、今以上にN I E活動の実践を進化させたいと考えておられる諸先生方、皆さんにこの小冊子を役立てていただければ幸いです。

中日新聞社N I E事務局



| | | |
|--|--------|----|
| ■はじめに | …………… | 1 |
| 新聞学習で実践の進化を 中日新聞NIE事務局 | | |
| ■目次 | …………… | 2 |
| ■新聞活用学習 | …………… | 3 |
| 構想図「目標・意義・背景・子供像」 | | |
| ■カリキュラム全体図 | …………… | 4 |
| 文章、見出し、写真、図・マンガ、広告、全般 事実把握→関連思考→価値判断→自己表現 | | |
| ■さあ、活用してみよう！ | | |
| 【授業内容】テーマ、ねらい、学習活動 | | |
| 1. 文章 (担当・岩井伸江、三原貫司、實石克巳、細江隆一) | …………… | 6 |
| 2. 見出し (担当・實石克巳、細江隆一) | …………… | 15 |
| 3. 写真 (担当・横井純夫、豊田久晴) | …………… | 23 |
| 4. 図・マンガ (担当・三原貫司、岩井伸江) | …………… | 34 |
| 5. 広告 (担当・大林正平、伊藤達也) | …………… | 44 |
| 6. 全般 (担当・横井純夫、大林正平、伊藤達也、豊田久晴、原田紀保) | …………… | 50 |
| ■新聞切り抜き作品とは…、その狙いと効果 | …………… | 61 |
| ■カリキュラム作成スタッフの紹介・感想 | …64～65 | |
| ■あとがき | …………… | 66 |
| 前NIE事務局委員 渥美 勝朗 | | |

新聞で今を知り、考え、未来を創る人間

生きる力

発信する

ステージ4

自己表現

考える

ステージ3

価値判断

読み解く

ステージ2

関連思考

知る

ステージ1

事実把握

学習の
段階

認識の
深化

新聞学習
の要素

新聞学習
との関連

教材化

新聞の特色

地域性

国際性

解説性

信頼性

一覧性

視点の多様性

速報性

人間性

記録性

言語能力の低下 希薄な社会的関心

カリキュラム

| | ① 文章 | ② 見出し | ③ 写真 |
|------|--|--|---|
| 事実把握 | <ul style="list-style-type: none"> ◇お勧め記事を収集しよう ▽紙面から興味のある記事を切り抜き、集め、保存する ◇難解な語句や漢字を探そう ▽知らない語句や漢字などに線を引き、調べる ◇記事の種類を知ろう ▽事実と解説、それ以外の記事に分類する ◇記事の書き方を知ろう ▽5W1Hを探す ▽書き方の特徴を見つける | <ul style="list-style-type: none"> ◇興味をひいた見出しを収集しよう ▽紙面から自分の興味がある見出しを切り抜き、スクラップする ◇見出しの漢字や語句を調べよう ▽知っている漢字や語句を探し、未知のものは意味を調べる ◇文字、デザインの違いを知ろう ▽見出しにいろいろな書体、デザインがあることを知る | <ul style="list-style-type: none"> ◇写真から伝わる情報を知ろう ▽写真の出所を確認する。写真の背景を知る。5W1Hを探す ◇撮影技術を知ろう ▽人を引きつけ、かつ説明的な写真を撮る。写真の撮影技術を整理する ▽自分も写真を撮り、キャプション（説明文）をつける |
| 関連思考 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ヴァーチャルインタビューに挑戦 ▽インタビュー記事を読み解き、再構成する ◇リード文に挑戦しよう ▽記事の内容をもとに的確なリード文を書く | <ul style="list-style-type: none"> ◇受ける印象の違いを考えよう ▽大きさや地紋から受ける効果の違いを考える ◇見出しから記事を理解しよう ▽出された見出しとキーワードからどんな記事なのかを考える | <ul style="list-style-type: none"> ◇写真にふさわしい文を考えよう ▽記事が伝えようとする内容を短い言葉にする ▽写真にキャプションをつける ◇写真をテーマごとに分類しよう ▽例えば紙面構成、植物動物、春夏秋冬、道徳的価値等により分類する |
| 価値判断 | <ul style="list-style-type: none"> ◇新聞記事を読み比べよう ▽同じニュースについて複数紙の記事を比較し、書き方や内容の違いなどをみつける ▽同じテーマで一紙の関連した記事を継続して読み、自分の考えをまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ◇見出しの適切さを考えよう ▽見出しと記事を比較し、書体が適切かどうかを学ぶ ▽表現技法などが効果的かどうかを判断する ▽見出しの大小と記事の重要度の表現の違いを考える ◇他紙との違いを見つけよう ▽同じ日付の新聞を何種類か用意し、見出しの付け方、言葉の使い方の違いなどを比べる | <ul style="list-style-type: none"> ◇他紙と比較し違いを見つけよう ▽同じ内容の新聞を何種類か用意し、ニュース写真と比べる ◇写真の伝達効果を調べよう ▽紙面ごとに引きつけられる写真を挙げ、理由を整理する ◇ベストショットをさがそう ▽新聞写真に賞をつけ、理由を書く |
| 自己表現 | <ul style="list-style-type: none"> ◇新聞記者になろう ▽新聞記者になったつもりで、相手を取材し、5W1Hを意識した文章を書く ◇投稿にチャレンジ ▽テーマを決め、意見文を書いて投稿する | <ul style="list-style-type: none"> ◇ベストな見出しをつけよう ▽記事を読み、文字やデザインの工夫などを考え、適切な見出しをつける ▽自分がつけた見出しを友達や家族と話し合う | <ul style="list-style-type: none"> ◇その人の立場で何かを語ろう ▽道徳的価値のある写真付きの記事を読み、その人物の心情を吹き出しを使って表現する ◇写真から韻文、物語を作ろう ▽詩、短歌、俳句、川柳などに挑戦。一枚の写真をもとに、物語をつくる。クイズをつくる ◇写真を集めアルバムを作ろう ▽写真を収集し、政治家、スポーツなど多様な観点で、テーマごとに分類し写真集をつくる |

全 体 図

| | ④ 図・マンガ | ⑤ 広告 | ⑥ 全般 |
|------|---|--|---|
| 事実把握 | <ul style="list-style-type: none"> ◇風刺マンガを楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ▽風刺マンガを見つける ▽風刺マンガから分かったことについて話し合う ▽風刺マンガについて批評会をする(ディベート等) ◇記事と図表はびったんこ? <ul style="list-style-type: none"> ▽新聞から図や写真を切り抜く ▽ニュース、種類など、図や表をテーマを決め分類し、図や表を使った事への効果について認識する | <ul style="list-style-type: none"> ◇広告を集めてみよう <ul style="list-style-type: none"> ▽新聞から広告と思うものを切り抜き、分類する ▽新聞紙上に占める広告の大きさを割り出してみる ▽広告の中で自分がもっとも気に入ったものを選び出す | <ul style="list-style-type: none"> ◇新聞の紙面構成を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ▽政治、経済、社会など紙面の成り立ち、組み立てを知ろう ▽新聞の一面を使って、見出しリード、コラムなどを探す ◇新聞の特色について知ろう <ul style="list-style-type: none"> ▽一覧性、記録性、速報性などがあることを知る ◇番組表を読もう <ul style="list-style-type: none"> ▽記号の意味を整理し、ニュース性のあるものを整理する |
| 関連思考 | <ul style="list-style-type: none"> ◇目指せ! コメンテーター <ul style="list-style-type: none"> ▽4コママンガを読み、作者の主張について考え、意見をまとめる ◇マンガにタイトルをつけよう <ul style="list-style-type: none"> ▽4コママンガに内容にふさわしいタイトルをつける ◇図や表にタイトルをつけよう <ul style="list-style-type: none"> ▽図や表に内容にふさわしいタイトルをつける | <ul style="list-style-type: none"> ◇広告の使命を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ▽商業広告と行政機関の公共広告の違い、役割について考える ▽広告のキャッチコピーで何を読者に訴えたいのかを考える ▽消費者の受けるデザイン効果を考える ◇広告から社会の動きを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ▽政治や経済の動きと広告の関連を考える ◇広告の対象を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ▽年齢、性別などだれを対象とした広告かを分類し、特徴を説明する | <ul style="list-style-type: none"> ◇新聞を読み比べよう <ul style="list-style-type: none"> ▽一面トップ記事や記事の良さを比べる ◇新聞記事を継続し収集しよう <ul style="list-style-type: none"> ▽テーマに沿って新聞記事を収集し、分類整理する |
| 価値判断 | <ul style="list-style-type: none"> ◇セリフに個性を光らせろ <ul style="list-style-type: none"> ▽吹き出しの部分空白にした4コママンガに、せりふを考えて入れる ◇図やグラフを比べよう <ul style="list-style-type: none"> ▽同じニュースについて複数紙の図やグラフを比較し、感想を発表し合う ▽グラフの共通点や相違点、必要性について話し合い、グラフの効果について考える | <ul style="list-style-type: none"> ◇消費者にとって良い広告とは <ul style="list-style-type: none"> ▽同じ業種の広告を抜き出し、その特徴を考える ▽私のベスト広告を探そう ▽広告の善し悪しを考える | <ul style="list-style-type: none"> ◇人権の扱い方を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ▽個人情報の取り扱いを考える ▽紙面から新聞社の見解や配慮事項を考える ◇友達や家族と意見交流しよう【ファミリーフォーカス】 <ul style="list-style-type: none"> ▽他の考えを聞き、自分の考えを見つめる |
| 自己表現 | <ul style="list-style-type: none"> ◇4コママンガに挑戦 <ul style="list-style-type: none"> ▽2~3日分のマンガを用意し1コマずつバラバラにする ▽バラバラにしたマンガを4つ選び、自分のオリジナルマンガをつくる ◇どうする? 0コマ目・5コマ目 <ul style="list-style-type: none"> ▽4コママンガの0コマ目や続き(5コマ目)を考える ▽イラストや、せりふも考える ◇表やグラフを読みとり、記事に <ul style="list-style-type: none"> ▽表やグラフが伝えていることを読みとって記事を書く | <ul style="list-style-type: none"> ◇広告を作ろう <ul style="list-style-type: none"> ▽自分で広告を作って、その工夫した点を発表する ▽私はどんな人? 自分自身の広告を作ろう ▽自己PR広告を用紙を使って作ってみる | <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の考えを表現しよう <ul style="list-style-type: none"> ▽環境、人権、福祉などに関する記事を収集し、自分の考えをまとめる ◇新聞形式でまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ▽学習や体験、インタビューしたことなどを新聞の形にまとめる ◇新聞切り抜き作品を作ろう <ul style="list-style-type: none"> ▽テーマに沿った記事を集め模造紙に貼って、見出しを付け、レイアウトして自分の意見、感想を書きオリジナル作品にする |

| 文章 No. 2 | 単元名 | <h1 style="margin: 0;">難解な語句や漢字を探そう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ1・事実把握〉</p> | | 時間 | |
|-------------------------------------|--|---|---|----|---|
| ねらい | 知らない語句や漢字などに線を引き、辞書などで調べることができる | | | | |
| 準備するもの | 記事（他の学習と関連できるものがよい）、辞書、ワークシート等 | | | | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | | | |
| つかむ | ①学習プリントに取り組む <div style="border: 1px solid black; background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 新聞記事を読み、難解な語句や漢字の力をつけよう </div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習がイメージできるプリントを用意 ・各自の関心が増す多様な記事を準備する | | |
| 深める | ②自分で記事を選び、難解な語句や漢字について調べる ③グループごとに調べた言葉や漢字を使ってクイズ合戦をする | | | | 評価基準 B：記事を熟読し、知らない語句や漢字などを、辞書などで調べている |
| まとめる | ④全体で知っておくとよい言葉を発表しあう ⑤授業を振り返って、わかったことや感想をまとめる | | | | |
| 備考 | 導入で使う 学習プリントの例 尻 施行 施策 込み 次の言葉の意味を調べよう ⑦きせい ④あやつり⑤ふたん⑥とほしい ①けんめい②かいじょ③たよる ①から⑦の平仮名を漢字にしなさい。 | |  | | |

| | | | |
|----------------|---|---|---|
| 文章 No. 8 | 単元名 | <h1 style="margin: 0;">新聞記者になろう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ4・自己表現〉</p> | 時間 |
| | | 1～2 | |
| ねらい | 新聞記者になったつもりで相手を取材し、その内容を5W1Hを使った文章で表すことができる | | |
| 準備するもの | 取材用のメモ用紙、まとめ用のワークシート、取材の仕方のマニュアル | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | |
| つかむ | <p>①本時の学習課題を確認する</p> <p>取材用のマニュアルは事前に配布を済ませ、この時間で簡単に確認をする</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に取材の仕方のマニュアルを用意し、配布する ・ 取材相手は事前に決めさせ、この授業の中で取材をさせる ・ 各グループを回り、支援が必要な場合は助言する ・ 5W1Hを使用しているか、文章はわかりやすいかなど、聞く視点を与える |
| 深める | <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; background-color: #ffe6e6; padding: 5px;">新聞記者になったつもりで相手を取材しよう</p> <p>②グループごとに取材をする</p> <p>教職員、生徒など取材が可能な人物に取材をする 取材中は必ずメモをとる</p> | | |
| | <p>③取材内容を確認し合い、個人で文章化する</p> | | |
| | <p>④全体で発表し合い、意見交流をする</p> | | |
| | <p>⑤本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる</p> | | |
| まとめる | | | <p>評価基準</p> <p>B：新聞記者になったつもりで相手を取材し、その内容を5W1Hを使った文章で表すことができる</p> |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに新聞形式でまとめてもいい。その場合は見出し、リード、写真の工夫を指導したい | | |

| 文章 No. 9 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">投稿にチャレンジ</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ4・自己表現〉</p> | | 時間 |
|-------------|--|---|--|----|
| ねらい | 新聞の記事から自分の意見を持ち、「序論、本論、結論」の流れで意見文を記述することができる | | | |
| 準備するもの | 自分が選択した新聞記事、下書き用紙、原稿用紙 | | | |
| | 学 習 活 動 | | 支援・評価 | |
| つかむ | <p>①あらかじめ持ち寄った新聞記事と、それに対する意見を全体で発表する</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">自分の意見を文章にして投稿しよう</div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に宿題を確認し、記事がない生徒には教師が用意した記事を与える | |
| 深める | <p>②構成が「序論、本論、結論」となる文章を原稿用紙に記述する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下書き用紙に構成を書く ・原稿用紙一枚（400文字）に記述する <p>③全体で意見文を発表し合い、意見交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しの工夫、構成のうまさ、意見の明確さなど、作品の良さを交流する | | <ul style="list-style-type: none"> ・事実と意見を混同しないように、二つの意味を押しさえさせる ・ペアや班など交流の形は工夫したい | |
| まとめる | <p>④本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品は新聞社へ投稿する | | <p>評価基準</p> <p>B：新聞の記事から自分の意見を持ち、意見文を記述できている</p> | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・扱う新聞記事は一つに絞り、それに関する作文を記述させても良い ・意見文の具体的な例として新聞の投稿欄の記事を活用すると効果的である | | | |

| | | | |
|----------------|---|--|--|
| 見出し No. 1 | 単 元 名 | 興味をひいた見出しを収集しよう 〈ステージ1・事実把握〉 | 時間 |
| | | 1 | |
| ねらい | 紙面から自分の興味をひいた見出しだけを切り抜き、収集することができる | | |
| 準備するもの | 新聞2、3日分 はさみ 収集用の封筒 説明用の見出し | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | |
| つかむ | ①見出しを理解する ・見出し=新聞などで内容の要点が一目でわかるように、本文の前につけた短い語句 <div style="text-align: center;">(『新明解国語辞典』)</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 新聞から自分の興味をひいた見出しを集めよう </div> | | ・新聞を黒板に張り、見出しの説明を行う ・見出しと記事やリード、写真などとの違いを確認する ・机間指導をしながら、見出しのみを切り抜くように注意する |
| 深める | ②見出しを収集する ・見出しと思うものをみつけ、はさみで切り抜く ・収集用の封筒に見出しをいれる ③収集した見出しに、なぜ興味をひいたか、発表し合い、意見交流する ・切り抜いたものが見出しか否かを判断する | | |
| まとめる | ④本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる | | 評価基準 B：紙面から興味をひいた見出しを収集することができている |
| 備考 | ・交流はペア、班、全体など教師側の判断で選択するとよい | | |

| 見出し No. 4 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">受ける印象の違いを考えよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ2・関連思考〉</p> | | 時間 |
|--------------|---|--|--|-------|
| ねらい | | 見出しの文字から受ける印象の違いを理解することができる | | |
| 準備するもの | | 自分が収集した見出しの保存用封筒 印象の違いを比較するためのワークシート | | |
| | | 学 習 活 動 | | 支援・評価 |
| つかむ | <p>①本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> いろいろな見出しから受ける効果の違いを考えよう </div> <p>②見出しについての印象の違いをノートに記入しまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさの違い ・字体の違い ・地紋の違い ・縦書きと横書きの違い <p>③見出しの文字から受ける印象の違いについて、発表し合い、意見交流する</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板に教師用の例を張って説明する ・ 机間指導でまとめ方を確認する | |
| 深める | <p>④本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる</p> | | <p>評価基準</p> <p>B：見出しの文字から受ける印象の違いを記入できている</p> | |
| まとめる | | | | |
| 備考 | | | | |

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| 見出し No. 5 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">見出しから記事を理解しよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ2・関連思考〉</p> | 時間 1 |
| ねらい | 見出しから記事の内容を推測し、5W1Hを使った適切な文章を書くことができる | | |
| 準備するもの | グループ分の見出し 蛍光ペンセット 記入用ワークシート | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | |
| つかむ | ①本時の学習課題を確認する <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">見出しから記事の内容を予想し、文章にしよう</div> | | ・見出しの例を提示し、全体で内容を推測させる |
| 深める | ②新聞の見出しからどのような内容の記事なのかを考えて、ワークシートに記入する ・ペアごと、班ごとなどで見出しを違うものにする | | ・5W1H全てを埋めるのは無理なので、わかる範囲で記入させる |
| つなぐ | ③ワークシートをもとに、予想した記事の内容を発表し合い、意見交流をする | | ・グループの代表者に発表させる |
| つなぐ | ④リードと本文を読み、自分の予想と合っているかどうかを確認する ・リードと本文の中から5W1Hを探して、蛍光ペンで印を付ける ・5W1Hに沿って、記事を文章化する | | ・それぞれの項目で色を分けて、印を付けさせる |
| まとめる | ⑤本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる | | 評価基準 B：5W1Hを使用し、文章にすることができている |
| 備考 | | | |

| | | | |
|----------------|--|---|--|
| 見出し No. 6 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">見出しの適切さを考えよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ3・価値判断〉</p> | 時間 |
| | | 1 | |
| ねらい | 見出しと記事を比べ、既成の見出しが適切かどうか、理由を挙げて判断することができる | | |
| 準備するもの | 生徒人数分の新聞 記入用ワークシート | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | |
| つかむ | <p>①本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 記事と比べて見出しが適切かどうかを判断しよう </div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 例文の記事を提示し、それにどんな見出しがつけられるかを予想させる |
| 深める | <p>②見出しと記事を比較し、見出しが適切かどうかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で考え、ワークシートに記入する ・ 見出しの意味がとりにくい場合には、自分で見出しをつけてみる | | <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ見出しが適切なのか適切でないのか、その理由を記入させる |
| まとめる | <p>③ワークシートをもとに、例文の記事につけた見出しが適切かどうか話し合う</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に適切な見出しをつけた生徒は全体でも発表させる |
| まとめる | <p>④本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出しをつける場合の注意点をまとめる | | <p>評価基準</p> <p>B：見出しが適切かどうかを判断することができる</p> |
| 備考 | | | |

| 写 真 No. 1 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">写真から伝わる情報を知ろう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ1・事実把握〉</p> | | 時間 | |
|-------------------------------------|---|--|---|----|--|
| ねらい | 写真の出所を確認し、キャプションや写真をよく見て5W1Hを探し、伝える情報の背景を知ることができる | | | | |
| 準備するもの | 写真付き新聞、ノート | | | | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | | | |
| つかむ | <p>①自分が興味を持った写真を見て、わかることを考える</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 W 1 H を整理する方法を考えさせ、写真だけでなくキャプションの重要性に気付かせる ・ 通信社や記者の思いを読み取らせる ・ ユネスコが通信社を(1)国内通信社(2)国際通信社(3)その他の通信社に類別していることにふれる ・ 新聞を普段から読む習慣の大切さに気付かせる | | |
| 深める | <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <p>写真から伝わる情報を知ろう</p> </div> <p>②キャプションを読んで情報の出所を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同通信社、時事通信社、ラヂオプレス、東京ニュース通信社 ・ ロイター - イギリス、AFP (Agence France-Presse) - フランス、AP 通信 - アメリカ、UPI - アメリカ、AI (Agencia Internacional)、聯合ニュース - 韓国、新華社 - 中国、朝鮮中央通信 - 朝鮮民主主義人民共和国、イタルタス通信 - ロシア、ノーボスチ通信 - ロシア、インタファクス通信 - ロシア、アゼルバイジャン国营通信、ピレンヌ通信、DPA - ドイツ、ANSA - イタリアなどの通信社や記者名 <p>③どういう背景で撮られた一枚かを前後の記事情報から考える</p> | | | | |
| まとめる | <p>④5W1Hをノートに整理する</p> <div style="text-align: center;">  </div> | | | | <p>評価基準</p> <p>B：写真の出所を確認し、5W1Hを探すことで情報を整理できている</p> |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ インパクトのある新聞の写真に普段から親しませるとともに、記事の収集活動を通して読む習慣をつけておく | | | | |

| 写真 No. 5 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">他紙と比較し違いを見つけよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ3・価値判断〉</p> | | 時間 1 | |
|-------------------------------------|--|---|---|-------------|--|
| ねらい | 同じ内容の各社の写真付き新聞から、違いや共通性について話し合い、記者の伝えたいことを簡潔にまとめることができる | | | | |
| 準備するもの | 同一内容の写真付き新聞、学習ワークシート | | | | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | | | |
| <p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p> | <p>①話し合う内容について、背景を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一内容に関する背景を簡潔に説明する <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>同一内容に関する各社の新聞写真を見比べ、共通点、相違点について考えてみよう</p> </div> <p>②同じ内容の新聞を提示し、比較する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>③班でニュース写真を比べ、話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもって話し合いに参加し、他の意見に触れる ・他の考えに触れ、自分の考えを振り返る <div style="text-align: center;">  </div> <p>④班で話し合った内容を発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点、相違点を明確にして発表する ・新聞写真の役割、新聞の役割にも触れる <div style="text-align: center;">  </div> <p>⑤わかったことをワークシートにまとめる</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・時間的な流れに沿って、話し合う内容の経緯を説明する ・共通点、相違点を明確にし、なぜ各新聞社はその写真を採用したのかを考えさせる ・全体で話し合う時に深まりのある話し合いにするために、班での話し合いの様子を把握しておく <div style="background-color: #cfe2f3; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準</p> <p>B：各社の写真付き新聞を比べ、違いに気づいている</p> </div> | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数の写真付き新聞が用意できない場合、写真No.6の「写真の伝達効果を調べよう」を参照 | | | | |

授業実践 学習ワークシート

- 1 話し合う内容について、背景を知る
- 2 同じ内容の新聞を提示し、比較する



A社



B社



C社

長井さん事件発生から14日までの流れ

- 9月27日 死亡のカメラマン 長井健司さんと確認
- 9月28日 ミャンマー国連大使、長井さん死亡で謝罪
- 9月29日 ミャンマー、デモ発砲
長井さん死亡 兵士、至近距離から
- 9月30日 僧侶ら100人以上殺害か デモ弾圧
ミャンマー軍政、デモ制圧宣言
- 10月2日 長井さん射殺「偶発的な事件」軍政釈明
- 10月4日 ミャンマーで殺害の日本人、遺体が帰国
- 10月5日 長井さんの遺体 成田空港に到着
- 10月6日 米英仏3カ国は、デモ隊への武力弾圧非難
- 10月9日 長井健司さんの葬儀 しめやかに
軍事政権はカメラを押収
- 10月12日 国連安全保障理事会は暴力行使に「強い遺憾」
- 10月14日 「デモ参加者と区別がつかず、偶発的」と弁明



D社

- 3 ニュース写真を比べ、話し合う
共通点

相違点

- 4 なぜA社はこの写真を採用したのか、なぜ他社は採用しなかったのか

- 5 本時を振り返って

| 写真 No. 10 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">写真を集めアルバムを作ろう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ4・自己表現〉</p> | | 時間 1 |
|-------------------------------------|--|--|--|-------------|
| ねらい | 自分の興味ある新聞の写真を収集、再構成し、課題が明確でストーリー性のあるアルバムを作ることができる | | | |
| 準備するもの | 新聞の写真付き記事、はさみ、カッター、のり、色紙、ノートまたはクリアファイル | | | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | | |
| つかむ | <p>①自分にとって興味のある写真を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞のトップ記事（政治、経済、事件など） ・季節感あるもの（花、花火、ルミナリエ、年中行事） ・スポーツ ・文化 ・動物 ・植物 ・天体 <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">集めた写真でアルバムを作ろう</div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞にはさまざまな写真があることに気づかせる | |
| 深める | <p>②アルバムを組写真の要領で作る方法を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉を開いた1ページにどんな写真を置くかを考える ・数枚の写真の配置を工夫する ・ストーリー性をもたせる | | <ul style="list-style-type: none"> ・組写真の面白さとストーリー性をもたせて表現させる | |
| まとめる | <p>③アルバムを完成する</p> <p>④アルバムの合評会を行う</p> <p>【観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アルバム全体の印象 ○訴えたいことが伝わる ○美術的な仕上がり具合 | | <ul style="list-style-type: none"> ・写真にコメントを付けさせる ・観点にそって評価し合う <p>評価基準</p> <p>B：写真付き新聞記事をテーマに沿って収集でき、アルバムに表現できている</p> | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味あるテーマを絞ったり、関連するものごとに記事を分類したりすることで、新聞切り抜き作品を作るための基礎的な技能を磨くことができる | | | |



| 図・マンガ No. 4 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">マンガにタイトルをつけよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ2・関連思考〉</p> | | 時間 1 | |
|-----------------------------------|---|--|---|-------------|--|
| ねらい | 4コママンガの内容にふさわしいタイトルを考えることができる。 仲間のつけたタイトルが適切かどうか、内容と照らして判断できる | | | | |
| 準備するもの | 4コママンガ | | | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | | | |
| <p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p> | <p>①例示したマンガについて、その面白さを確認し、全員でタイトルをつける</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">4コママンガの内容にふさわしいタイトルを考えよう</div> <p>②各自がマンガを選び、その面白さを確認し、タイトルをつける</p> <p>③仲間のつけたタイトルが適切かどうか、内容と照らし合わせながら考える</p> <p>④タイトル発表会をする</p> <p>⑤授業を振り返ってわかったことや感想をまとめる</p> | | <p>・ OHPや実物投影機を活用すると効果的</p> <p>評価基準</p> <p>B：4コママンガの内容に合うタイトルをつけている</p> <p>・ 教師が評価する</p> | | |
| 備考 | <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立派な年齢 ・ カッコいい年 ・ 100歳万歳 | | | | |

| 図・マンガ No. 8 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">4コママンガに挑戦</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ4・自己表現〉</p> | | 時間 | |
|-------------------------------------|---|--|--|----|--|
| ねらい | 自分のオリジナルマンガをつくらることができる | | | | |
| 準備するもの | 数日分のマンガ | | | | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | | | |
| つかむ | <p>①本時の活動を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習課題を知る <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>4コママンガを1コマずつ切り分けたものを切り貼りして、自分のオリジナルマンガを作ろう</p> </div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 数日分のマンガの吹き出しを消してバラバラにしたものを用意する ・ 同じ紙面のマンガだけでなく、2～3紙のマンガにするとよい | | |
| 深める | <p>②オリジナルマンガを作成する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> | | | | |
| まとめる | <p>③完成した作品を 発表し合う</p> | | <p style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px;">評価基準</p> <p>B：自分のオリジナル4コママンガを作成している</p> | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事をもとに、4コママンガを創作するなどの活動に発展させてもよい | | | | |

| | | | |
|-------------------------------------|--|---|-------------------------------|
| 広 告 No. 6 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">広告を作ろう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ4・自己表現〉</p> | 時間 |
| ねらい | | 広告の特徴を生かした自己PR広告を作ることができる | |
| 準備するもの | | 私が選んだベスト広告、A4方眼紙、色鉛筆、定規 | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | |
| つかむ | ①私が選んだベスト広告と他の人が選んだベスト広告を交換して、その特徴を確認する | | ・ベスト広告は、各自の事前課題として持ち寄る |
| 深める | <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 広告の特徴を使って自己PR広告を製作しよう </div> ②何を訴えたいか、構想を練る ③A4方眼紙に、ひきつける自己PR広告を作成する | | |
| まとめる | ④広告発表会をし、工夫した点を説明する ⑤本時を振り返って、わかったことや感想をまとめる | | 評価基準 B：自己PR広告を作っている |
| 備考 | ・第1時に作品を完成させ、第2時を発表会とするとよい | | |

| | | | |
|-------------------------------------|--|---|---|
| 全般 No. 1 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">新聞の紙面構成を知らう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ1・事実把握〉</p> | 時間 |
| ねらい | | 新聞の紙面が政治、経済、社会などの面別構成でページ建てられ、それぞれの面が見出し、リード、記事本文、写真などによって組み立てられていることなどの成り立ちや割り付けの特徴を書くことができる | |
| 準備するもの | | 新聞の朝刊、夕刊、はさみ | |
| <h2 style="margin: 0;">学 習 活 動</h2> | | 支援・評価 | |
| つかむ | ①自分がよく読む新聞社名、面、記事など、普段から興味を持っていることを発表する | | ・新聞には全国紙、地方紙の他に中日新聞などブロック紙のあることに触れる |
| 深める | <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 新聞の紙面構成を知らう </div> ②新聞はどんなページ建てになっているかをまとめる ・総合面（一面）、政治、国際、商況、経済、オピニオン、地域、スポーツ、生活、社会、文化、テレビラジオ、日曜版など | | |
| まとめる | ③一面の成り立ちや割り付けを調べる ・題号、発行日、号数、版数、新聞社名、HP、第3種郵便物認可、コラム（中日春秋）、トップ記事、肩、見出し、リード（前文）、関連記事面紹介、写真、主なニュースのインデックス、天気、広告など | | ・新聞の顔ともいえる一面は政治、事件、スポーツなど、その日の大きなニュースを載せる。総合面が、2～3ページの新聞社もある。政治部や社会部などに分かれて取材。編集、制作を経て印刷し、できた新聞が配達されていることに気付かせる ・特徴をまとめ、記事の要素や構造を知るように支援する |
| まとめる | ④新聞の成り立ちや割り付けの特徴を書く ・見出し、写真、リード文、記事（本記）、雑観、解説、評論、投稿、コラムがある ・報道記事の要素は5W1H（いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように） ・逆三角形の構造で、まず結論を書き、次に経過や説明的なことを順次書く | | |
| 備考 | ・新聞社によって紙面構成や割り付け、一段の文字数など、読みやすい紙面づくりの工夫がされている。表に整理するとおもしろい。新聞をハサミで切ってパズルにし、組み立て直す作業学習を取り入れるとよい | | |

| 全般 No. 4 | 単 元 名 | <h1 style="margin: 0;">新聞を読み比べよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ 2・関連思考〉</p> | | | 時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|--|---|-----|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|
| ねらい | 一面トップ記事を読み比べ、扱い方の違いを比べることができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 準備するもの | 一面トップ記事数紙、ワークシート | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学 習 活 動 | | 支援・評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| つかむ | ① トップ記事を赤枠で囲み、グループ内で一通りざっと目を通す <div style="border: 1px solid black; background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;"> 一面トップ記事の扱い方を比べよう </div> | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 違いがわかりやすい日の記事を数紙用意する ・ 教師が一面トップ記事の持つ意味を説明する ・ ワークシートの書き方を説明する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 深める | ② ワークシートに沿って、グループ内で協力してトップ記事の特徴をまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 ・ 1面に占める割合など ・ スタンス ③ それぞれの新聞の特徴をグループで話し合う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まとめる | ④ グループのまとめを学級で発表する | | | 評価基準 B：ワークシートを完成させ一面トップ記事の持つ意味を理解している | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの項目例 <div style="margin-left: 20px;"> 日付 / <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr><td style="width: 20%;">新聞名</td><td style="width: 20%;"></td><td style="width: 20%;"></td><td style="width: 20%;"></td><td style="width: 20%;"></td></tr> <tr><td>見出し</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>記事の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>関連記事面数</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一面に占める割合</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>リードの要約</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> </div> <p style="margin-left: 20px;">可能なら三日分用意すると良い</p> | | | | 新聞名 | | | | | 見出し | | | | | 記事の種類 | | | | | 関連記事面数 | | | | | 一面に占める割合 | | | | | リードの要約 | | | | |
| 新聞名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見出し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 記事の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関連記事面数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一面に占める割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リードの要約 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

生徒作品例



| | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|---|---|-----|------------|-------|------------|----|-------|
| 全般 No. 7 | 単元名 | <h1 style="margin: 0;">友達や家族と意見交流しよう</h1> <p style="margin: 0;">〈ステージ 3・価値判断〉</p> | 時間 1 | | | | | | |
| ねらい | 新聞記事に対して他の人の考えを聞き、自分の考えを見つめることができる | | | | | | | | |
| 準備するもの | 記事、ワークシート | | | | | | | | |
| | 学 習 活 動 | | 支援・評価 | | | | | | |
| <p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p> | <p>①話し合うテーマを提示して、記事を読む</p> <p>②自分の意見をワークシートにまとめる</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 自分の意見を論理立てて討論し合おう </div> <p>③賛成または反対の立場から、グループ内で意見交流する</p> <p>④グループの代表者が話し合った内容をまとめて紹介する</p> <p>⑤本時の記事とワークシートを家族で読み、話し合い、家族の意見をまとめて提出する</p>  | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 論点を討論しやすいものを選ばせる（温暖化など） ・ 自分の意見を発表し他の人の意見をしっかり聞く ・ 討論の仕方を説明する ・ 討論の様様や家族の意見を通信に掲載する <p style="background-color: #bbdefb; padding: 5px;">評価基準</p> <p>B：自分の意見を発表し討論している</p> | | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの項目例 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">見出し</td> <td>私の意見(理由付記)</td> </tr> <tr> <td>記事の要約</td> <td>グループ討論後の感想</td> </tr> <tr> <td>論点</td> <td>家族の意見</td> </tr> </table> ・ ファミリーフォーカスとは 学校だけでなく、家族で新聞を読み、意見交流すること | | | 見出し | 私の意見(理由付記) | 記事の要約 | グループ討論後の感想 | 論点 | 家族の意見 |
| 見出し | 私の意見(理由付記) | | | | | | | | |
| 記事の要約 | グループ討論後の感想 | | | | | | | | |
| 論点 | 家族の意見 | | | | | | | | |

新聞切り抜き作品とは

「新聞切り抜き作品づくり」は、中日新聞社独自の新聞を使った学習方法です。平成6年（1994年）9月に第1回新聞切り抜き作品コンクールの募集を始め、もう20回になりました。

作品は、新聞を読み、テーマを決めて関連した記事を切り抜き、見出しを付け、レイアウトをしながら模造紙（B紙）にはります。それに制作者の意見、感想を書き込んで、世界で1つだけの「新聞」に仕上げるのです。

応募の対象は、小・中・高校生でしたが、10年前から「ファミリーの部」も設けました。親子や、おじいさん、おばあさんと一緒に作ることによって、コミュニケーションがはかれ、家族の「絆」が生まれると考えているからです。新聞業界が進める「新聞活用」の手法として、優れた方法だと考えています。

最近の応募数は、9,500点を超えています。個人応募はむろん、三人以内で仕上げても出品することもできますので、応募者数はおよそ12,000人にもなります。特に、「ファミリーの部」への作品の応募が増えることも期待しています。

作品づくり、コンクールの狙いと効果

「新聞切り抜き作品作り」を提案している理由は、子供たちが社会性を身につけて「生きる力」を培ってほしいからです。

これまでの学校教育は、どちらかというところ、子供たちにとっては「受け身」の授業展開になりがちでした。でも、新聞切り抜き作品作りは「自らテーマを決め、新聞を切り抜いて模造紙にはり、意見や感想を書く」のですから、主体的に学習し、情報発信することになります。文部科学省が考えている「自ら問題を見つけ、解決する学習」です。

作品を作るには、いろいろな記事を読みますから、知らず知らずのうちに「読解力」「文字力」「文章表現力」などが向上し、「考える力」や「社会力」を身につけることになるでしょう。それだけでなく作品を構成することによって「デザイン力」や「創造力」も高まるでしょう。1つのテーマを継続して追いつけることは「より広く、より深く学習ができる」ことにつながると確信しています。

コンクールを続けていて何よりもうれしいのは「作るのが楽しい」という子供の声が多いことです。学校だけでなく、家族と一緒に取り組めて「教育に新聞を（NIE）」が目指す、家庭での学びにも最適です。

みなさんも一度、学校で、家庭で、ぜひ挑戦してみてください。家族での取り組みも、新聞記事を通じて親子が対話をする、良い機会になるはずですよ。

新聞切り抜き作品例

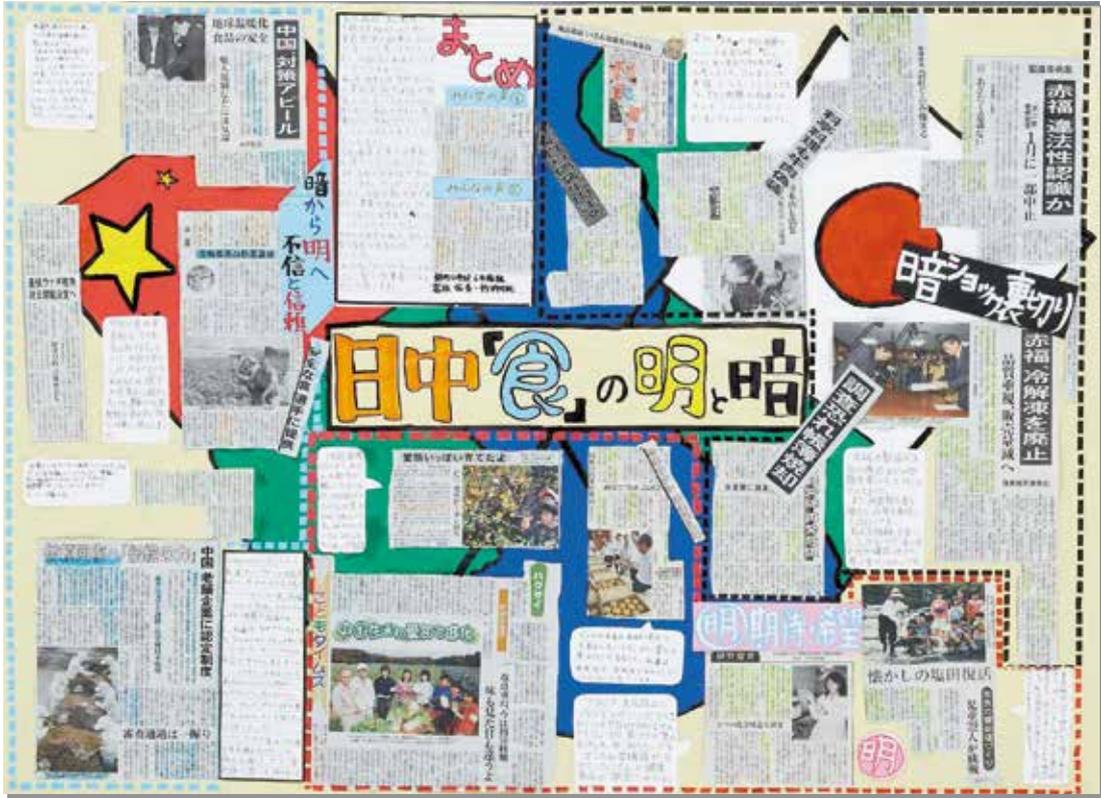


第14回新聞切り抜き作品コンクール中学生の部中日大賞
愛知県碓目寺町碓目寺中学2年 城野さちえさんの作品



中学生の部中日大賞
愛知県豊橋市青陵中学3年 大山優さんの作品

新聞切り抜き作品例



小学生の部中日大賞
愛知県安城市錦町小学6年 富板佑香、竹濑可純さんの作品



高校生の部中日大賞
滋賀県長浜高校3年 西川千晴さんの作品

カリキュラム作成スタッフの感想

(順不同、所属は一部を除き作成当時)



伊藤 達也教諭 名古屋市立城山中学校

「すべては、生徒と活用する先生のために」というコンセプトからこのプロジェクトに参加させていただきました。土曜日や日曜日に中日新聞社にこもって各地域の中学や高校の先生方や新聞社の方々と熱の入った議論から生まれたこの冊子を一人でも多くの先生方に手にとっていただき、新しい取り組みのきっかけとして活用して、ご意見をいただければ幸いです。



岩井 伸江教諭 愛知県碧南市立東中学校

小学校編に引き続き、中学校編のカリキュラム作成に携わせていただきました。小学校編では学年ごとに作成したカリキュラムを中学校編ではどう作るのか、まず、柱立ての段階から議論を重ねることになりました。そういった練り上げの中で作ったのが、今回のカリキュラムです。私にとっては難しい面も多々ありましたが、新しい発見がいくつもある楽しい作業でもありました。今回のカリキュラム作成を契機に、私自身もまた新たな挑戦をしたくなりました。



大林 正平教諭 滋賀県愛知郡愛荘町立愛知中学校

昨年4月「新聞学習カリキュラム(小学校編)」を見た時、中学校編もあれば良いなあと考えていたところへ、それが編集されることを知り、仲間に入れていただきました。最近仕事が忙しいことをいいわけにして実践を楽しむことを忘れていた私にとっては、新聞の多面にわたる新たな活用方法を学び、考え出す良い機会になりました。早速、できる限りの機会にカリキュラムを実践し、新聞学習の楽しみを発信したいと考えています。



實石 克巳教諭 静岡市立高校

たった一人高校教諭の立場から参加し、情熱を持つ中学校の先生方からさまざまなことを学びながらカリキュラム作成に携わせていただきました。「NIEには理論とシステムの構築が必要」という持論を持っていましたが、ますますその思いが強くなる一方で、この新聞学習カリキュラム(中学校編)は、熱い議論から生み出された原石のようなもの。どのように磨いていって、生徒を魅了するかは実践者の先生方に掛かっています。



豊田 久晴教諭 愛知県弥富市立弥富中学校

NIEを意識し、実践し始めて9年になります。白紙からのスタートで、試行錯誤の連続だったことを思い出します。今回のカリキュラム作成で、東海四県の実践を積んでいる先生方、新聞社のみなさんとのつながりをもて、貴重な体験になったと同時に、私自身のよき学習の場になりました。新聞は、1つの教材になりうる、学習全般に活用できる存在だと思います。この中学校編を1つの切り口に、多くの先生方に実践していただけると、うれしく思います。



細江 隆一教諭 岐阜県美濃加茂市立東中学校

NIEの実践経験が豊富な諸先輩方に囲まれ、毎回圧倒された作成委員会でした。ときに白熱した議論が展開したかと思えば、昼食時には家族のように温くなる集まりから、NIEの技術や方法だけでなく、一教師としての生き方や考え方まで教えられました。毎月会議で宿題が出され、それをこなす生活はハードでしたが、それも終わってみれば良い思い出。今後は他県の実践者とも交流を図りながら、NIEの実践を積み重ねたいと思います。



三原 貫司教諭 岐阜県山県市立美山中学校

新聞学習カリキュラム作成に、二年にわたって参加させていただきました。「教育現場で、本当に役立つものを作りたい」と、そう願って、努めて参りました。小学校版の流れを踏みつつ、中学校における学習を想定して作成してきました。実践していただいたときに満足してもらえるものになったと自負しています。一人でも多く、このカリキュラムを活用して、実践される先生方がいてくださることを願っています。



横井 純夫教諭 静岡県磐田市立磐田第一中学校

新聞カリキュラムの作成によって、新聞活用教育が中部9県に浸透していることを実感しました。構想図、要素別系統表、全体図を各県で熱心に取り組んでいるみなさんと検討し、練り上げ、気軽に使える自慢のカリキュラムが出来上がりました。展開例で「新聞づくり」を担当し、いかに中日新聞が参考になるかを痛感しました。マンガ「ちびまる子」や通信社と「写真の出所」、見出しの付け方などを参考にしながら新聞のまとめ方を再考する機会となりました。



原田 紀保 中日新聞社NIEコーディネーター

新聞学習カリキュラム中学校編の編集に取り組んで1年。教科の新聞教育には優れた実践事例が数多く報告されていますが、体系化したカリキュラムは見当たりません。

このカリキュラムは新聞の要素・特徴を基盤にした広域カリキュラム、クロスカリキュラムです。委員の先生は国語、社会、理科、数学のベテランぞろいで、教科の枠を超えられるか心配でしたが、新聞教育にかける情熱でなんとか完成することができました。



加藤 毅 中日新聞社NIEコーディネーター

教科の色彩が強い中学校で、教科の枠を離れて新聞を中心に据えたカリキュラムが組めるのか……。予想どおり毎回、喧々諤々(けんけんがくがく)の討議でした。それでもお互いに理解し合い、認め合い何とか中学校編が完成しました。新聞を活用した学習では、読解力、文字力、認識力など多くの力が培われます。各学校で、地域の実情を踏まえて、このカリキュラムを参考にし実践していただければと思います。



加藤 榮治 中日新聞社NIEコーディネーター

NIEの優れた授業実践は数多くある。それを体系的に整理し、教育課程にどう位置づけ展開していけばNIEの真価が発揮できるか。委員一同、編集方針を議論する中で、「中学校教育の領域と学年の枠を超えた新聞の要素別カリキュラムづくり」、「どの先生も、どの学年のどの時期でも使えるカリキュラムづくり」などを合意し、作業を進めた。昨年発刊の小学校版と合わせ、本書が活用され、NIEがさらに発展することを期待している。



渥美 勝朗 中日新聞社NIE事務局委員

新聞学習カリキュラムの中学校編は、小学校編での議論で学校や先生の事情を聴いていたので、その分、気が楽だった。とはいえ中学校の先生は、小学校の先生以上に教科にとらわれ、カリキュラムができるかどうか、作成委員長の私も自信がなかった。紆余(うよ)曲折を経て中学校編の冊子ができたのは「小学校編を土台に作ろう」というみんなの結束力の結果だ。忙しい校務の中、自宅で夜なべをしてくれた先生方の姿が目につく。



パソコンを使って新聞学習カリキュラム中学校編
の原稿作りをする委員のみなさん

あ と が き

中学校の先生が、新聞を活用しNIE（教育に新聞を）の授業を進める一つのモデルとして、2007年に発刊した小学校編に続く「新聞学習カリキュラム中学校編」を作りました。新聞学習を一つの「教科」と想定したカリキュラムです。冊子には、2007年5月に「カリキュラム作成委員会」を立ち上げ、1年がかりの熱い議論と手間のかかる作業を積み重ねた結果が凝縮されています。厳しい批評もあるでしょう。でも、先駆的に体系的なカリキュラムを仕上げるのは、そんなに簡単ではありません。作成委員の思いはただ一つ「NIE推進の一助になれば」です。

委員は、中部地方の中学校の先生ら8人とNIEコーディネーター3人、私の計12人。5月2日を皮切りに月1回、合わせて10回の会合を重ねました。毎回、会議をスムーズに進めるため、次回に検討する内容の宿題を提示しました。校務の合間を縫って資料を準備する委員のみなさんは、時には夜なべをしなければならないこともありました。

年初には、かぜの高熱を押して会議に出席してくださいました。転倒して全身を打ち、腕の骨折の痛みをこらえて最終の編集会議に臨んだ委員もいました。この情熱と責任感に心を打たれました。

中学校編は、当初の会合で「小学校編を踏まえて考える」という方向を決めました。教科の枠を超えたカリキュラム作りを目指して、総合学習を念頭に置き、道徳、特活などに配慮して検討することになりました。

目指す子供像は「新聞で今を知り、考え、未来を創る人間」としました。新聞学習の意義は、教育的な社会背景を「言語能力の低下、希薄な社会的関心」ととらえ「生きる力」をはぐくむこととし、新聞の特色を生かす構想図をまとめました。

具体的には、文章、見出し、写真、図・マンガ、広告、全般の6項目に分けて教材化。「知る」「読み解く」「考える」「発信する」という学習段階を踏まえ、ステップを「事実把握」から始め「関

連思考」「価値判断」「自己表現」へと認識の深化を高めて行く構成にしました。

ただ、今回は、小学校編のように低・中・高学年といった学年別の発達段階を考えず、どの学年からでも学習段階に合わせ新聞活用が進められるように配慮しました。従って、カリキュラム全体図だけを作り、新聞の要素別系統表の作成はやめました。

全体図は、小学校編では子供の発達段階に応じて学ばせる狙いから、縦軸が「親しむ、読む・知る、考える、発信する」、横軸が「低学年、中学年、高学年」でした。これに対し中学校編のステップは、学年別を考慮しないで、認識の深化を視点にした「事実把握、関連思考、価値判断、自己表現」を縦軸に置き、横軸に新聞の学習要素である「文章、見出し、写真、図・マンガ、広告、全般」を配置しました。

授業の展開例は、各委員が作業を分担。原稿は、委員がパソコンで作りましたが、ソフトが「一太郎」と「ワード」に分かれていて、バラバラの仕上がりとなりました。これを私が修正、調整し、出版業者にも一部手直ししてもらい発刊にこぎつけました。ただ、小学校編は、最終の学習段階「発信する」のすべての項目に、中日新聞独自の新聞活用の手法「新聞切り抜き作品作り」を取り入れています。中学校編はこれをしていません。しかし、小学校から中学校へ新聞学習を継続する視点から、中学でも取り組むと有効な学習法です。カリキュラム全体図の学習の要素「全般」の最終学習段階「自己表現」のところで、ぜひ、切り抜き作品作りを実践してほしいと願い、授業展開例の末尾に事務局で1ページを追加しました。参考に「新聞切り抜き作品とは…」「その狙いと効果」の説明と、児童生徒の作品例を掲載しました。

今回の中学校編で、小、中学がそろいました。新聞学習を進める手法として、一つのモデルを提示いたしました。作成にあたった委員の願いは、教壇に立って児童、生徒たちの新聞学習の指導にあたっている先生方の参考にしていただきたいということです。これから訪れるであろう厳しい学力重視の教育環境の中で、新聞学習のカリキュラムがどう生かされるかは、冊子を活用する先生にお任せするしかありません。が、「真の学力を高めるのに、きっと役立つ」と思います。これまで、新聞活用に全く関心がなかった先生にも、ぜひ、これを手に取って新たな学習指導のきっかけにしてほしいのです。中学校編とはいっても、小学校はもちろんですが、高校でも活用できる内容になっています。

もうひとつ、新聞学習は校長、教頭といった管理職の温かい理解が欠かせません。冊子をぜひご覧いただき、NIEへの前向きな理解を願っています。

(前NIE事務局委員・渥美勝朗)

| | |
|---------------------------------------|---|
| NIEガイド第19号 教育に生かそう 新聞学習カリキュラム 中学校編 | |
| 発行日 | 2008年4月30日 2014年5月7日 第二刷発行 |
| 編集・発行 | 中日新聞社NIE事務局 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 電話 052-221-1047 FAX 052-221-0857 |
| 発行者 | 中日新聞社代表取締役社長 小出 宣昭 |
| 印刷 | コスモクリエイティブ 〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭1-8-8 |

教育に新聞を

Newspaper In Education

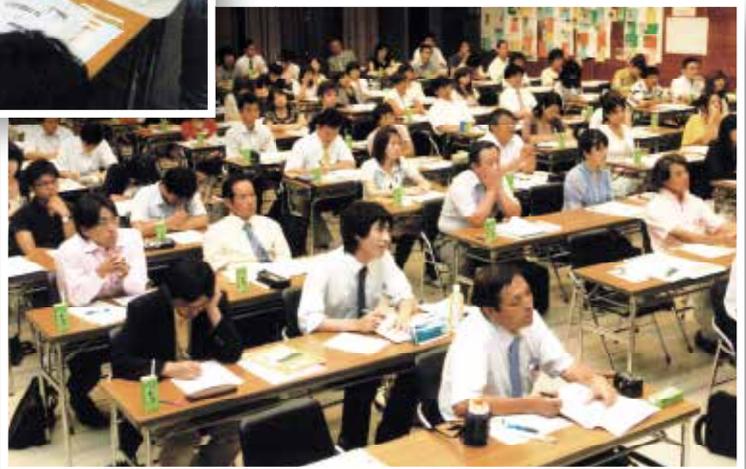


どう取り組んだらいいの？

新聞活用研修会に参加、新聞学習カリキュラム小学校編の冊子を広げて、熱心に耳を傾ける先生たち=中日新聞本社北館で

楽しいぞ！切り抜き作品制作

「親子で挑戦 新聞切り抜き作品実践教室」に参加した子供たちやお父さん、お母さん



NIEって教育に役立つの？

セミナー「教育に生かそう新聞力」に参加した先生たち=本社6階ホールで



中日新聞社 NIE事務局編